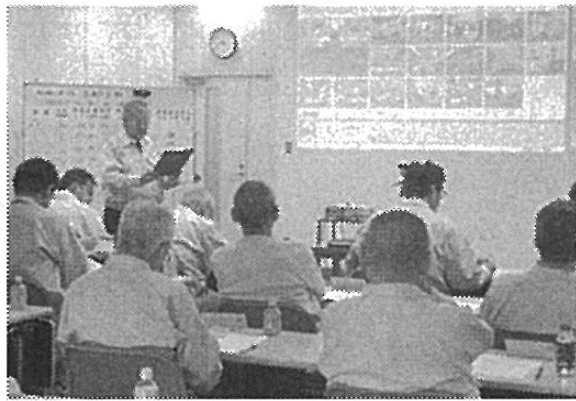


災害時の緊急体制を確認

BCP訓練を全拠点で実施

大成ロテック



大成ロテックは10日、全国の拠点でBCP（事業継続計画）訓練を実施したII写真。冬季休日の

午前6時に都心南部で地震が発生したとの想定で、同社社員のほか、グループ会社のボー、ティールコンサルタン

ト、泰明工業、京丹建設の社員も含め1547人が参加した。

訓練は、災害対策本部を立ち上げる東京・新宿区の本社に障害が発生したとの想定で、非常用電源設備を備えた鴻巣研修センターを代替拠点として災害対策本部を立ち上げた。社員、社員家族の安否確認、全国の拠点とWeb会議システムを用いて通信確認を行い、初動体制が取れることを確認した。また、各対策部長などが災害対策本部に参加できず、自宅最寄りの

拠点に参集し遠隔指揮が取れる事を確認した。

確認の後は、災害対策本部を本社に移管し、「グループ会社とWeb会議システムを用いた連携訓練」「今年度から導入した災害情報集約サービスを用い、災害情報と関連する自社拠点及び取引先

拠点の被災状況確認訓練」「備蓄してある災害用資機材の供給訓練」「被災拠点の支援要請に対する対応訓練」「災害協定得意先の支援要請に対する対応訓練」「重要得意先の協力のもと、実際に支援要請の連絡を受け対応する訓練」を実施した。同日に実施された大成建設のBCP訓練とも連

携し、MCA無線やTV会議を用いた緊急連絡体制確保、情報収集訓練、大成建設の支援要請に対する対応訓練を実施し、災害用資機材手配・供給訓練にも参加した。

訓練後の講評で西田義則社長は「当社は、社員、家族、お客様を大切にす

る会社であり、社会貢献する会社でもある。災害時には、一刻も早く国民の生活を元に戻すために、重要な道路を復旧させることは社会貢献として大事なことだ。そういったことを念頭におき、舗装工事業者である我々は常日ごろから行動しなければならぬ」と話した。